

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'94

4

月号【1日発行】

新日本フィル&小澤征爾
サートン
前売中



保木に咲くカタクリの花



いまを話す

東京劇団の団長 張紹成さん
中国のスターがなぜ日本で…

Stage Up **4** 号もくじ/1994年

■心のこもる私の一冊■

「虹のたつ峰をこえて」 大和市、北村明延さん ————— 3

「ロッテルダム灯」 中原区、布施徳郎さん

■ほんねインタビュー いまを話す■

東京京劇団団長 張紹成さん ————— 4

中国のスターがなぜ日本で旗揚げ？

◆ワイド版 はりきっています グループ紹介 ◆ ————— 8

ヴァイオリンを楽しむ「アンダンテ」

四季の花で創作する「はなの会」

●学習・文化情報／会員募集 ● ————— 10

●読者の声／ミニニュース／編集後記 ● ————— 15

新日本フィル&小澤征爾 前売り中 ————— 16

◎表紙絵……保木に咲くカタワリの花———田村あやさん

(小誌は再生紙を使用しています)



元気倶楽部

◆お湯も使えて便利です
株式会社 タイキ ジャパン

価格 230,000円
(消費税、工事費別)

**水を選ぶ人の
整水器はこれ!**

●このアルカリイオン整水器は優れた性能で信頼を集めています。

- ☆健康にいい アルカリイオン水
- ☆美容にいい アストリンゼン水

- ◇自動洗浄機能
- ◇電解レベルスイッチ
- ◇カートリッジ交換 ウォーニング機能

ライフステージを豊かにする整水器をお手元にどうぞ



minesoft
ミネソフト

AKAI 赤井電気株式会社

価格 198,000円
(消費税、工事費別)

いまなら2週間
無料貸し出し中

お気軽に無料カタログをご請求ください
☎ 044-954-4154 株ヒューマンテックコーポレーション
商品のご注文も電話で 川崎市麻生区万福寺1-8-7-306

新開ゆり子著 虹のたつ峰をこえて アリス館牧新社

200年前の大凶作との闘い

大和市福田 北村明延さん

凶作にまつわる狂騒音鳴り止まぬを聞くにつけ、思い起こされるのは、悲惨な天明の大凶作のことである。

そこで知り得た本書を図書館か



心のにこのる一冊の本と言うとき私は迷わずこの本を挙げる。この中には、作者が戦争中、青春時代を軍人として過ぎられた外地を舞台とした短篇が集められており、あとがきで氏は「この本を編むに当り、謹んで戦没された方々に対し静かに鎮魂の祈りを献げたいと思います」と書かれている。

童話作家でもあった氏の作品は、

ら借り受け、一九七二年初版本をひもといてみたところ、製本ミスから開かない頁のある、新本と等しいものであった。

昔言葉で綴られた文章で実に見説得力があり、往時が彷彿と浮んでくる素晴らしいリアルなタッチであった。

二百年も前に相馬藩住民の三分

庄野英二著 ロッテルダム灯

講談社文庫

旧軍人の鎮魂の祈りに深い余韻

中原区井田 布施徳郎さん

戦場に題材をえているにもかかわらず、多くは花をテーマに据え、いづれも心に染みとおるように美しい。ちなみに、氏はこの本で昭和三十六年、第九回日本エッセイストクラブ賞を受賞されている。

この中から、ただ一つ紹介するとすれば「菊」をとりたい。これには、スマトラの兵站宿舎で、一夜、同室となった年とって召集さ

の二が死に絶え、耕す農民の姿なき農地は荒れ放題。窮状打破のため、藩は武士に鋤を握らせたが、意に任せず、農民の労苦が判り、苦肉の移民受入策が講じられ、働き者だが耕す農地に恵まれない越中に銚先が向けられ、加賀藩内普願寺の幼き男の子、後の恵順、発教兄弟に白羽の矢が立ち、二人の苦難がはじまった。

子沢山に苦しむ農民らは、相馬藩の示した好条件にひかれ、「百姓法度」に背く危険を犯してまで困難な移住に立ち向った。

両師は三百里(約千二百料)離れた相馬へ向け、巧妙な策を弄して導き続け、道中親不知の難所や六十里越えの峠を無事乗り切り、相馬藩へ送り届ける大任を果し、その多数の農民によって、同藩の安泰の基礎を築いた功績は偉大であり、学ぶものがあつた。

多くの方が本書を読まれ、温故知新の精神を培い、耕作者は冷害に強い有機農法を心掛けられ、消費者も食の選択眼を養い、視点を二十一世紀へ向けた、賢い生き方をすべきだと思つてしまった。

では、ここに、この作品のもつ雰囲気をお伝えすることができず、もどかしい気がする。

河盛好蔵氏は、巻末の解説で、「文章はどれもみな深い余韻があつて、読後の後味がきわめてよいのも、この本の魅力の一つである」と記されている。同じ多難な時代を少年として日本で過した私は、何度繰返して読んでも飽きない。なお、作者は昨年、七十八歳で逝去されたことを付記しておきたい。

ご投稿をお待ちいたします。
1行15字42行です。

いまを話す

ゲスト 東京京劇団の団長
張 紹成 さん

Vol. 23



中国京劇界の 将来の主演が 「いい演劇は必ず支持される」 なぜ日本で旗上げ？

華やかな衣装に派手なメーカーキャップ、素朴な音楽と歌・踊り、独特な台詞まわし、ダイナミックで華麗な動き。中国の古典演劇・京劇が世界的に脚光を浴びはじめ、麻生市民館の「東京京劇団」公演は満員の観客を魅了させた。同劇団団長で俳優の張紹成さんは、超一流の国立中国京劇院の元俳優。来日公演の際、歌舞伎界の大御所の猿之助と共演も。中国京劇界で将来を囑望されながら、なぜ日本で劇団を結成したのか。「京劇は総合芸術。国を越え楽しんでいただけるはず。日本でそれを試したかった」と熱い思いを吐露する。全国公演の願いは、第一歩を踏み出したばかり。その結実に意欲を燃やす張さんの四月舞台は「霸王別姫」。艶やかな女形を演ずる。

——昨年十二月の麻生市民館での「東京京劇団」公演は、大盛況で、熱演が客席に直に伝わりました。観客の反応はいかがですか。
張さん ご覧いただいたいて、ありがとうございます。日本の方は礼儀正しいですね。中国のお客さんは、失敗したら厳しいんです。
——京劇をナマで見たのは初めてで、舞台の張さんは、厳つい大男に見えましたが、実際にお目にかかるのと、スラッとして整ったマスク。印象が全然違いますね。
張さん みなさんにそう言われ

ます(笑顔で)。

——アクトバットののような動きに驚嘆し、独特の音楽に文化の違いを感じました。
張さん 京劇は中国を代表する古典演劇です。舞台装置はシンプルですが、演じる中身は非常に複雑で歌、せりふ、踊り、トンボ返りなど、演劇のすべての要素が含まれた芸術で、世界で注目され私自身、京劇に誇りを持っています。

——豪華な衣装やメーカーキャップなど、わが国の歌舞伎と似ているように思うのですが。
張さん 歌舞伎とは手の動きや音楽が大きく違います。歌舞伎は、俳優が音楽に合わせますが、京劇は逆で、音楽が役者に合わせます。日本で公演する時の障害は言葉です。それで、日本語の解説を入れています。「三国志」「水滸伝」「孫悟空」など、日本になじみ深い演目もありますし。

——確かに、物語りや見どころの説明は、分かりやすくてよかったです。メイクもご自分でなさるのですか。
張さん はい。衣装は北京から取り寄せています。

——中国の演劇で、お面がクル

迫力ある動き、派手な衣装・化粧 自由な芸術表現求め…

ツと変わる演技を映画で見ましたが、どんな仕掛けなのですか。

張さん あれは、おもに四川の川劇で使っていますが、京劇でもたまに使います。(市川)猿之助さんと共演した時、取り入れました。

—あの仕掛けは…。

張さん んー。私にも分かりません(企業秘密なのか苦笑して)。中国には他に越劇、粵劇があり、衣装、化粧は、ほとんど同じです

が、方言やメロディーが違います。

張さんたちの「東京京劇団」

は、日本で唯一の京劇プロ集団ですが、結成までのいきさつは。

張さん 日本に来ていた元京劇俳優を説得し、一九九二年十一月に結成しました。現在のメンバーは、俳優に留学生、元中国残留孤児などを加え二十五人。これまで

七、八回の公演を行っています。

—北京で憧れの京劇役者だっ

た張さんが、どうして日本で京劇をやろうと思われたのですか。

張さん 一口で言えば、自分の可能性を試したかったんです。私が所属していた中国京劇院は、超一流の名門劇団です。退団を申し入れた時「十年後には、主役になれる」と説得されました。

—前途を保証されながら、日本にお出でになったのですね。

張さん 京劇院にはベテランが多いので、四十代にならないと主役は無理なんです。私にとって十年は永すぎます。公演で二回、訪れた日本に来たのは「芸術に国境はない。いい演劇は、必ず理解される。日本で生きられる」との自信と信念からです。

—国の違いを超え、理解し合えるのが芸術ですね。二回の日本公演で、力強い感触をつかまれたのでしょうか。

張さん はい。最初は八六年の京劇院の公演。二回目は、八九年で猿之助さんとの合同公演です。その八九年は、忘れもしない天安門事件があった年です。公演が終

張紹成 さん

ちょう・しょうせい1962年、北京生まれ。10歳から国立中国戯曲学院で京劇を修業後、中国京劇院に入団し京劇俳優として活躍する一方、映画で主演も。86年、同劇院公演で初来日。89年、スーパー歌舞伎で市川猿之助と共演。90年、来日し日本語学校に通う。92年から日大聴講生になり演劇理論を学ぶ。同年、「東京京劇団」を結成して同団団長に。妻・恵さんと多摩区枳形に在住。

わって北京に帰った三日後の六月四日に事件が起きました。

—中国の民主化が急速に進展するかと世界が注視した事件でしたね。天安門事件が、なにか張さんに影響を与えたのでしょうか。

張さん 日本では、個人が努力すれば可能性が広がりますね。中国では、決まったレールの上しか走れない面があります。芸術でも、やりたいことが自由にできなければ…。



「語り」の伊藤真弓さんが聞く



十歳の時、突然、スカウトされ

早朝から夜遅くまで特訓

張さん 文革以後、そういう面はあります。政府の振興策で、京劇がテレビでよく放映されていますが、若い観客が少ないです。

——後継者の心配は……。

張さん 去年九月、北京へ帰ったのですが、一人っ子政策で、子供が甘やかされ、楽しいことだけをやる風潮が強まっています。

「楽しいだけのこと」と「苦勞を積んだ結果、楽しい仕事が出来るとは違うんです(真剣な面持ちで)。

張さん自身は、好きで京劇をお始めになったのですか。

張さん 小学四年の十歳の時、京劇の先生が突然、学校に見えられスカウトされ、国立戯曲学院に入學したのです。京劇は好きでしたが、自分の意思で俳優になったわけではないのですよ。

——そんなに小さい時から……才能があったのでしょうかね。

張さん その頃の中国は、声や顔、体つき、運動能力などをみて、

俳優の資質のある子をスカウトしたのです。体が柔らかいうちに練習を始めないと京劇俳優は育ちません。入學当初に二枚目、三枚目、悪役が決められ勉強するんですよ。

——徹底した英才教育だったのですね。ところで張さんは、何枚目でしたか。

張さん 私は二枚目(照れ笑い)。選ばれるというのは、子供心に誇らしかったし、好奇心もありました。でも、学院は全寮制で、修業は大変厳しいものでした。

——そんなに厳しい稽古だったんですか。

張さん 朝五時半に起床し、十分後に発声練習や柔軟体操を始め、

飛んだり跳ねたり立回りの訓練。午後は普通の学校と同じ教科を勉強。夕食後、七時から十時まで練習。芝居の稽古は、この基本をマスターしてからです。自由時間は、ほとんどなかったですね。

——ほーお。いつごろまで、そんなに厳しい修業をされたのですか(驚きの表情で)。

張さん 卒業するまでの九年間、ずーっとです。

——よく耐えましたね。辞めたと思ったことは……。

張さん 一度もありませんでした。外の世界を知りませんので、一人前の役者になりたい一心で一生懸命努力しました。楽しさは、厳しさの中で見出せるものです。先生が厳しかったのは、学校にいる短い間に、生徒を一人前にしたいと願う気持ちからで、今でも感謝しています。

——とっても謙虚ですね。私も「語り」の稽古をしていて、思うように表現できず、壁に突き当たるときがあるので、張さんは、いかがですか。

張さん 京劇院に入ってから感じました。でも、自分で努力するしかない。壁は練習、練習、練習

——でも、中国では俳優の地位は高いのではないのですか。

張さん 俳優は知識層に入り、社会的地位は高いです。かつては収入も高かったのですが、文化大革命では厳しい批判にさらされ、文革以後は平等政策によって、所得は低く押さえられています。

——それは意外でした。古典演劇は特に優遇されていると思いませんか。市場経済が進み、日本と同様に文化的には古典が軽視されているからでしょうか。



で打ち破れますよ(強い口調で)。ただ、激しい練習をするだけでなく、時には静かに自分を見つめること、演技の上手な人の表現力から何かを感じ取り、自分もあのようにならなうと心掛けることも大切です。

——激しい動きが多い京劇役者は、年齢的な限界はないですか。

張さん 個人的な体の条件がありますが、私の先生は現在七十六歳で、まだこんな足を上げられます(立って右足をピンと上げその足首を右手でつかむ)。たまに舞台に出ますが、素晴らしい演技です。



伊藤真弓さん

——わーあ、軽々と足を上げて

すごいなー(拍手)。練習は、毎日欠かさないのでしょね。

張さん 近くの寺の庭や生田緑地で発声や柔軟、武術の訓練をしています。いま住んでいる多摩区は、静かな環境でいい所なんです。学生の時は、先生の講義を聞いて

いる時や地方公演の列車の中で、絶えずポーズをとって、鍛えていました。

——日本に来て三年。稽古場の確保をはじめ、苦勞も多いと思いますが……。

張さん 劇団の結成で、やっと一歩を踏み出した感じです。「つるかわ中国文化研究サークル」などで中国語や、気功、太極拳も教えていますが、公演活動をもっと広げたいと願っています。

——張さんの活動を理解し、サポートしてくれているのが日本人の奥様ですね。今日もご一緒ですが、知り合ったきっかけは。

張さん 中国語を学んでいた彼

4月公演 強い大男から女形へ 京劇は自分の命の一部



女と、友人たちの集まりで知り合っ去年、結婚しました。劇団のマネージャー的なこともしてくれ

ます(はにかみながら)。

張さん 京劇は捨てられないものの。自分の命の一部ではないでしょうか。東京の京劇研究会で毎週教えていますが、とにかく好きで、感情の一部分です。教えるのも、自分がやっても楽しい。

——演じる喜びですね。四月の公演で女形をやるそうですね。

張さん 女形は微妙な演技力が要求されますね。笑い方、歩き方、目の使い方などの形。内面から湧き出る、気を吐くような演技力が求められます。京劇の名優の芝居は、目や手の表情が女性より女っぽく、すごい。正式に女形を演じるのは初めてですが、自信はあります(静かにきっぱりと)。

——電車の中で演技のことを考

えたりするのですか。

張さん ええ。考えていると、目の表情がいつの間にか演じているんです。いま、頭の中は完全に女形です。人が見ていたら変に思われますね(笑いながら)。

——本当に研究熱心ですね。今後、おやりになりたいことは。

張さん この前、坂東玉三郎さんの舞台を見ましたが、非常にシンプルで京劇との共通点もあり、あのようなきれいな舞台と一緒に作りたい。また、新しい抽象的な舞台にも挑戦したいですね。

——玉三郎さんと共演する舞台、見たいですね。

題字は高橋清・川崎市長
構成／野々川千恵子
文責／田中 圀

★編集チームから「東京京劇団」の公演のお知らせ

四月四日(月)午後七時開演、
なかのZERO小ホール。問い合わせは☎044(935)592
3の張さん▽七月三日(日)午後二時開演、町田市民ホール。問い合わせは☎0427(34)5100の田井さん。



仲間と励まし合い 難しい楽器奏でる

仲間と楽しむ 学ぶ 活動する 生き生きと。

も輝いている。

第一、第二水曜日の朝、愛器のヴァイオリンを抱いて高津市民館音楽室に集まる。お互いの顔が見えるよう輪になって座り、チューニング(調弦)する。きれいな澄んだ音になっているか、指先と耳に全神経を集中する。厳粛な雰囲気漂う。

この日は、間近に控えた演奏会に備え、パツフェルベルの「カノン」とヴィヴァルディの「コンチエルト ト長調」の練習に熱がこもる。三つのパートに分かれ、それぞれの旋律を弾く。音の強弱やテンポが溶け合うよう、全身を耳にしている演奏。三つの音が追いかけあい、重なり合う。会員の紙屋由美さん(47)の娘、未央さん(22)のチエロが特別に加わり、繊細で

透明なハーモニーを奏でる。演奏会への確かな手応えを感じる。

時折、視線を指導の門依子先生(K・C・P 神奈川クラシック・プレイヤーズ所属)に移す。ボーイング(弓の上げ下げ)が揃わないと音色が微妙に狂うからだ。ヴァイオリンだけのアンサンブルは数少なく、門先生が弦楽合奏の楽譜を同会向けに編曲。第一、

第四水曜日には、パートや経験別に、先生の自宅で特訓を受けている。

会発足は六年前。高津市民館の成人学校「初めてのヴァイオリン演奏」への参加がきっかけ。ヴァイオリンの経験も年齢もさまざまだが、同楽器への熱い思いは変わらない。

同学校で初めてヴァイオリンを持った紙屋由美さんは「難かしい楽器を、勇気を持って始めたことで、積極性が出て、自分を大切に生きるようになりました」と話す。当時、幼稚園児だった子どもたちを連れて練習に来ていた岡村順子(38)さんは「子どもも今では小学三年と四年で、ヴァイオリンを習っています。いつか親子合奏をしたいですね」と夢を語る。

門先生は「みなさんの熱意が伝わってきます。一生でできる趣味なので、互いに学び合いながら楽しみたい」とにこやかに話す。

心に響く音楽は、友情のハーモニーをも、醸し出しているようだ。同代表宅は、宮前区菅生三の四六の三。☎(976)4106。

「弦楽器は、音を『とる』のも難しい」といわれているが、これを六年間、仲間と一緒に楽しんでるのがヴァイオリン・アンサン

ブル「アンタント」―風間恭子代表(56)ら十六人。メンバーは中年の主婦らで「仲間と一緒に弾けるのが楽しくて……」と、どの顔

ヴァイオリンを楽しむ

アンタント

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

四季の花で創作する

はなの会

遊び感覚で、食卓に四季の花を飾り、知人の誕生日やお見舞いに花を贈るなど「潤いのある暮らし」を心掛けるフラワーアレンジメントを楽しんでいるのは、「はなの会」——岡田美津江代表(45)ら十八人。

第一、第四火曜の午前、多摩区三田の青少年創作センター美術工芸室で創作活動をしている。

この日は、プレゼント用の「バスケット・アレンジメント」と、入学式の時期を意識して「コサージュ(服に付ける花飾り)」を作った。花材は、ピンクのスプレーカーネーションにオレンジ色のスイートピー、可憐なブルースター、ミモザ、かすみ草など。

まず、プレゼントをする人の顔や好みをイメージしながら、バスケット(かご)の底に、オアシス(スポンジ)を置き、そこに濃緑の小さな葉・スマイラックスを刺し、さらにスイートピーなど数種類の花を生けていく。濃緑一色だ

つたバスケットがオレンジやピンクの春らしい淡い色に変える。首を傾げながらスプレーカーネーションをバスケットの真ん中に

生けるヤングママ。手提げの部分にスマイラックスを巻き付けアーチにする中年女性。それぞれの会員のセンスが生きた花かごに仕上がる。

松尾悦子・マナコフラワーアカデミー認定教授と梅津和代・同認定師範が、会員の回りを歩き「すてきね。ブルーが入ると、もつと引き立ちますよ」と、会員の個性

を生かしたアドバイスをする。

スイートピーをちりばめ、小さな花園を想像させる作品や、スプレーカーネーションを軸にふんわりとした作品など、どの作品も春の暖かさや香りでいっぱい。お互いの作品を見ながら、笑顔がこぼれ和やかに会話が弾む。

同会は、決められたカリキュラムで会を開くのではなく、会員の希望や季節に合った作品を作る。

同会は一昨秋、同センターの講座「フラワーアレンジメント」受講者の有志が集まり結成した。

圓谷みどりさん(34)は幻想的にアレンジしたが「子どもが喜ぶデザインが出来ました」と笑顔。

鳥山俊さん(42)は「アレンジしたお花を贈った時、相手の笑顔が浮かびます」と満足そう。

小島真理子さん(36)は「これから始めてから、道端に咲くお花にも目がいきます」と話す。

岡田代表は「花のある生活は精神的に豊かになります。気軽に参加して下さい」と呼び掛ける。

同代表宅は、多摩区三田三の二の二の一〇五。☎(922)8755。

(文・カメラ/小誌・山本綾子)

喜ばれる色彩と香りの贈りもの



仲間と楽しむ

学ぶ

活動する

生き生きと。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演

市外局番のないものは044

学習・文化情報

①ギター&ソング講座
 ②発声(コーラス)教室③
 歌声のひろば④油絵入門◆
 県立高津青少年会館①は
 4月1日〜6月24日の毎週
 金曜、全11回(4月29日、
 5月6日を除く)②は4月
 6日〜6月29日の毎週水曜、
 全12回(5月4日を除く)。
 発声法の基礎からコーラス
 に向けて③は4月7日〜6
 月30日の毎週木曜、全13回。
 みんなで楽しく唄う④は4
 月13日〜5月18日の毎週水
 曜、全5回(5月4日を除
 く)。デッサンから完成まで。
 時間は①②③が19〜21時④
 が18時半〜20時半。対象は
 青年。定員は①④が10人②
 ③が15人。申し込みは☎8
 44)2101の同館。J
 R南武線武蔵溝ノ口駅下車。
 「緑の教室◆市緑化セン
 ター」5月〜来年4月の毎
 月1回、水曜。園芸全般に
 ついての基礎知識の講義と
 実習。受講料は年間3千円、
 教材費は別。対象は市内在
 住者。定員40人(抽選)。申
 し込みは4月13日(水)13
 時半に同センターへ直接来
 館。詳しくは☎(911)
 2177の同センター。J
 R南武線宿河原駅下車。
 「春まき草花の育て方講
 習会◆市緑化センター」4
 月27日(水)13時半から。
 教材費4百円。定員30人
 (抽選)。申し込みは4月20
 日(水)までに往復はがき
 に講習会名、住所、氏名、電
 話番号を記し〒214多摩
 区宿河原6の14の1、詳し
 くは☎(911)2177
 の同センター。J R南武線
 宿河原駅下車。
 「国際語エスペラント入
 門講座◆市総合自治会館」
 5月13日〜7月15日の毎週
 金曜19〜21時、全10回。語
 学ゲームの教授法で、基礎
 的な文法の理解や自己紹介、
 最低限の日常会話ができる
 ようにする。受講料は一般
 6千円、学生4千円。川崎
 エスペラント会主催。申し
 込み、問い合わせは18時以
 降に☎(533)1906
 の北川さん。同館はJ R南
 武線武蔵小杉駅下車。
 「春期土曜特別講座①中
 国語②英語③エスペラント
 語◆桜美林大学外国語セン
 ター」いずれも4月16日〜
 7月30日の毎週土曜、全15
 回。時間は①②が13時半〜
 16時50分③が10時半〜12時。
 受講料は①②が3万円③が
 1万5千円。①は入門コー
 ス▽初級コース▽中級コー
 ス▽上級コース。定員は各
 コース先着20人。②は成人
 英会話コース、3クラス▽
 TOEFL受験準備コース、
 2クラス▽中高生会話コー
 ス、6クラス。定員はーク
 ラス先着20人③はエスペラ
 ント語の歴史と文法、会話
 法。講師は大庭篤夫・同大
 経済学部教授。定員は20人。
 ☎0427(97)266
 1内線276か277の同
 センターへ直接申し込み。
 会場はJ R横浜線淵野辺駅
 からバス。
 「前期・青年音楽講座◆
 県立川崎青少年会館」4月
 7日〜9月29日の毎週木曜
 は「ヤングコーラス」。定員
 16人▽4月8日〜9月30日
 の毎週金曜は「クラシック
 ギター」。定員15人。楽器の
 貸し出しあり▽4月9日〜
 9月24日の毎週土曜は「吹
 奏楽」。定員20人。楽器持参。
 いずれも時間は18時45分〜
 20時45分。対象は16歳以上。
 参加費無料。申し込み、問
 い合わせは☎(222)5
 281の同館。J R川崎駅
 東口下車。
 「京劇鑑賞講座◆鶴川市
 民センター」4月16日(土)
 「京劇その演技」▽5月7
 日(土)「京劇その音楽」▽
 5月22日(日)「京劇その衣
 装、化粧」の全3回で1回
 の受講も可。時間は14〜16
 時。講師は張紹成・東京京
 劇団団長。演技、演奏は同
 劇団員。会費は3回で3千
 円。申し込み、問い合わせ
 は☎0427(34)51
 00の田井さん。同所は小
 田急線鶴川駅からバス。
 「わくわく実験教室◆東
 芝科学館」4月9日(土)
 9時半〜11時半▽13〜15時
 「超伝導ってなんだろう」
 をテーマに分かりやすく解
 説。対象は小学生以上で親
 子の参加も歓迎。定員は各
 回先着250人。無料。申
 し込みは☎(549)22
 00の実験教室担当。同館
 はJ R川崎駅からバス。
 「着付け入門教室◆サン
 ライフ川崎」5月12日〜7
 月14日の毎週木曜13時半〜
 15時半、全10回。講師はき
 もの文化・歴史風俗研究会
 の尾崎弘子会長。受講料は
 2060円。定員先着30人。
 申し込みは4月12日(火)
 から☎(344)1777
 の同所。J R急八丁駅下車。
 「ビジネス英語・中国語
 研修◆市産業振興会館」英
 語は6月10日〜12月16日の
 毎週金曜。対象は若干の知
 識のある人。受講料は10万
 円▽中国語は6月8日〜12

学習・文化情報

参加したい催しがある

月14日の毎週水曜。対象は初心者。受講料は11万円。いずれも時間は18時半〜20時半、全25回(祝祭日、8月第2・3を除く)。定員は各8人。締切り後に簡単な面接あり。申し込みは5月13日(金)までに☎(548) 4119の市産業振興財団情報開発課。同館はJR川崎駅西口下車。

①発明教室②生物教室③小・中学生天文教室◆市青少年科学館ほか①は4月24日(日)〜来年3月19日(日)9〜12時、全23回。紙、木工、竹、夢の絵、電気などの工作。講師は川崎少年少女発明クラブ企画運営委員会、市内小中学校教

催し



「原政行君を偲び「私」と社会教育の関わりを考えるつどい◆中原市民館」5月7日(土) 13〜16時。「受け継ごう 広げよう 原政行君の心のかがり火を」をテーマに、42歳の若さで亡くなった川崎市のこと

論。定員先着40人②は5月21日(土)から主に第3土曜14〜16時、全8回。場所は生田緑地。ネイチャーゲームをしながら生田緑地の自然をさぐる。定員先着20人③は6月5日(日)から毎月1回日曜17〜20時半、全10回。希望者は八ヶ岳で夏合宿あり。教材費千円。合宿費は別。定員45人(抽選)。対象は小学4〜中学3年生で1年間、継続参加できる方。申し込みは①4月15日(金)から②4月26日(火)から電話で③は4月25日(月)までに往復はがきに住所、氏名、性別、学校、学年、電話番号を記し〒214多摩区樹形7の1

も文化センターや中原市民館などの職員として、「子どもと教育問題」に真剣に取り組んできた原さんの足跡を偲び、参加者が、自分と社会教育、地域社会について考え、今後の社会教育の在り方を展望する。原さんは読書活動、動物飼育、スポーツ活動を通じて、子ども達に「生きる喜び」を教えた

の2、☎(922) 4731の同館◆小田急線向ヶ丘遊園駅下車。

「ワークセミナー」労働女性大学講座◆県立勤労女性会館 前期は5月10日〜8月2日、全13回▽後期は8月23日〜11月15日、全13回で原則として毎週火曜の18時15〜20時15分。役立つ労働法、働き続けるためのしくみを学ぶ。受講料は全期5150円。申し込みは受講申込書に受講料を添え、☎(511) 0451の同館か☎045(201) 111内線4059の県労働福祉課。同館はJR川崎駅西口からバス。

実践家。同実行委には白井慎・法政大教授や他県の社会教育者が名を連ねている。参加費無料。当日、「原政行君追悼集」(実費千円)も。問い合わせは☎(722) 7171の同市民館内、実行委。

①市民タンポポ調査②天体観望会③天体写真撮影会◆市青少年科学館①は

4月23日(土)〜5月17日(火)。外来タンポポと在来タンポポの分布を調べる。対象は小学生以上。小学生の指導は1対1で。②は4月9、16日の土曜19時から③は5月22日(日)19時半から月(月齢1)を撮影。対象は小5年以上。持ち物はフィルム、一眼レフカメラボディ。申し込みは①4月16日(土)20日(水)10時12時のオリエンテーション参加の際②不要③4月17日(日)から☎(922) 4731の同館で定員先着14人。②③ともに雨、曇りは中止。小学生は保護者と参加。同館は小田急線向ヶ丘遊園駅下車。

「草木染め入門◆県立高津青少年会館」4月10日(日)10〜16時。鯉のぼりの図案に染める。対象は青年。定員15人。材料費千5百円。持ち物はエプロン、昼食。申し込みは☎(844) 2101の同館◆JR南武線武蔵溝ノ口駅下車。「さくらそう展◆市緑化センター」4月12日(火)〜5月1日(日)9時半〜

16時。月曜休園。詳しくは☎(911) 2177の同センター◆JR南武線宿河原駅下車。

「子どものびのび広場◆県立川崎青少年会館」4月9日(土)①「ゲーム広場」は10〜12時。将棋、オセロなど②「卓球広場」は12〜14時。持ち物はラケット、室内靴③「ギター体験入門」は14〜16時。持ち物は筆記具④「字をきれいに書く教室」は13時半〜15時半。文字の正しい書き方を習う。持ち物はB3、B4の鉛筆。対象は①②③が小学生〜高校生④が小学生。定員は①③④が10人②が20人。参加費無料。申し込みは☎(222) 5281の同館◆JR川崎駅下車、バスあり。

「全日本吹奏楽コンクール課題曲〜洗足学園大学吹奏楽特別クリニック◆前田ホール」4月29日(金)13〜17時。課題曲の作曲者が解説とアドバイス。指揮は藤田玄播・同大客員教授。入場料は全席自由で千円。前売りは☎(877) 3211内線285の同大演奏

学習・文化情報

魅力的なコンサートがある

部。同所はJR南武線武蔵溝ノ口駅下車。

「よみうりランド春の山野草と茶花展◆よみうりランド植物園」4月29日(金)～5月5日(木)。日本各地の珍品と多摩丘陵の山野草の育成状況を展示。問い合わせは☎(966)1111の同園。小田急線読売ランド前駅下車。

「川崎童謡の会1周年記念◆中原市民館」例会は4月13日(水)14時から。なつかしい歌、心の童謡をみんなで歌う。資料代千円▽ギャラリー展は4月9日(土)～同13日(水)9

17時。会員が趣味の手芸、盆栽、書道、俳句などや民間福祉作業所「ひかりの家」の知的障害者が作ったエプロン、手芸品などを展示。問い合わせは☎(754)1380の川崎童謡の会。同館はJR南武線武蔵小杉駅下車。月曜休館。

「森林浴と歴史探訪の会」ふるさと再発見◆多摩自然遊歩道」5月14日(土)9時半集合。雨天の時は5月21日(土)。小沢城跡、寿

福寺、薬師堂を訪れる。講師は宮崎安好・郷土史家。定員先着40人。拝観料200円。持ち物は昼食、雨具、筆記具。集合場所はJR南武線稲田堤駅改札出口。多摩市民館学習グループ・多摩教養あゆみの会主催。申し込みは4月24日(日)9時から☎(944)5280の宮崎さん。

ステージ

「川崎合唱まつり◆宮前市民館」7月17日(日)にあるが、4月11日(月)～5月6日(金)に出場する合唱団の募集を行う。申し込みは書類を添えて〒210川崎区宮本町6安田生命ビル3階の市教委社会教育部文化課☎(200)3305。資格は高校生以上の市内在住在勤在学者で構成の合唱団。部門は男声合唱、女声合唱、混声合唱、重唱。曲目は自由。時間は1団体6分以内。参加料無料。講師は全日本合唱連盟派遣講師ほか。市教委主催。

「芸能サロン」川崎能楽

堂の四季'94春◆川崎能楽堂」4月23日(土)14時開演。内容は「糸あやつり人形芝居の至芸」。出演は結城雪齋さんほか結城座。演目は釣女▽伽羅先代萩から御殿の場ほか。入場料は2千500円。前売り☎(222)7995の能楽堂。JR川崎駅東口下車。詳しくは☎(222)8821の市文化財団。



コンサート

「かながわ音楽コンクール◆神奈川県立音楽堂ほか」①ユースピアノ部門。準本選は4月2日(土)▽本選は4月24日(日)②ヴァイ

オリン部門本選は4月17日(日)②とも時間は10時半から。入場料は本選のみ中学生以上500円。準本選は前田ホール。JR南武線武蔵溝ノ口駅下車。音楽堂はJR桜木町駅下車。問い合わせは☎045(20)0931の神奈川新聞社文化事業局内・同コンクール事務局。

「かわしんファミリーコンサート」麻生フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会

スポーツ

「エアロビクス入門◆県立高津青少年会館」4月12～26日の毎週火曜19～20時半、全3回。レッツシェイプアップ。対象は青年。定員20人。申し込みは☎(844)2101の同館。JR南武線武蔵溝ノ口駅下車。

「第1期スポーツ教室◆市体育館」①男女で楽しいエアロビクスは4月27日～7月6日の毎週水曜18時半～20時、全10回。指導は谷佳織・スタジオNANA専

◆麻生文化センター」4月10日(日)14時半開演。指揮は小田野宏之、ピアノは三村和子。曲目はベートーヴェン・序曲「レオノール」第3番▽リスト・ピアノ協奏曲第1番▽チャイコフスキー・交響曲第4番へ短調作品36。料金は千円(全席自由)。前売りはチケットぴあ。同センターは小田急線新百合ヶ丘駅下車。問い合わせは☎(955)1953の横須賀さん。

属インストラクター②バドミントン入門は4月28日～7月7日の毎週水曜18時半～20時、全10回。指導は渡辺勇樹・バドミントン指導員。初心者向け。教材費2千円③氣功・太極拳(八段錦)は5月7日～7月9日の毎週土曜10～11時半、全10回。指導は大島拓二・揚名時太極拳準師範ほか。基本から応用まで④シルバースポーツ教室は4月27日～7月13日の毎週水曜10～11時半、全10回。健康で若々しい体作りと知識を学ぶ。指導は川崎保健所講師、ス

学習・文化情報

参加したいスポーツがある

スポーツ指導員。対象は55歳以上⑤健康体力改善教室は5月6日～7月22日の毎週金曜14時半～16時半、全12回。メデイカルチェックをしながらトレーニング。対象は健康、体力に自信のない人、運動を始めようとする人。指導は運動生理学者、トレーナー⑥親子スポーツ教室は4月22日～7月8日の毎週金曜9時半～11時45分。指導は横浜体操クラブの指導員。対象は3歳児とその保護者⑦少年スポーツ教室Aは5月10日～9月20日の毎週火曜16～16時50分、全15回。トランポリン、マツト運動ゲームなど基礎体力作り。対象は小学1～4年生。定員は①～⑤が40人⑥100組⑦60人。受講料は①②③⑤4千円④は1回120円⑥は1組3千円⑦は1回60円。申し込みは①②③4月20日(水)18時半④同日10時⑤4月22日(金)14時⑥4月15日(金)10時⑦4月26日(火)10時に直接来館。問い合わせは☎(200)3255の同館J R川崎駅東口下車。

①スポーツコーナー・トレーニング講習会②レディス・シェイプアップ③パウンドテニス講習会④剣道初心者教室⑤社交ダンス初心者講習会◆県立川崎青少年会館①は4月15日(金)18時半～20時半。ウエイトトレーニングの基本を学ぶ。対象は16歳以上②は4月6日(水)18時半～20時半。ウエイトトレーニングで健康維持と増進。対象は16歳以上の女性③は4月20日～6月1日の毎週水曜19～21時。初心者でも楽しめる。対象は16歳以上④は4月16日～7月9日の毎週土曜18～19時半。基本から指導。川崎青育剣友会主催。対象は青少年、一般。竹刀持参。①～④とも参加無料、安全保険料千三百円。定員20人。⑤は4月19日～6月28日の毎週火曜18時45～20時45分。シルバ、マンボなどダンスの基本ステップを。ダンシング・エコー主催。対象は16～30歳の方。定員は男女各先着20人。いずれも運動着で④を除き室内靴で参加。申し込み、問い合わせは☎

(222)5281の同館 J R川崎駅東口下車。 「スポーツ教室◆麻生スポーツセンターほか」①エアロビクスで体力づくりは5月13日～7月15日の毎週金曜19～20時半、全10回。会場は西菅小体育館②ウォーキングで体力づくりは5月7日～6月25日の毎週土曜14時半～16時半。日曜に実技あり③初心者の空手教室は5月14日～7月16日の毎週土曜19～20時半、全10回。対象は市内在住在勤で15歳以上の方。③は年齢問わず。受講料4千円。定員各40人。申し込みは①4月27日(水)同小体育館②③4月23日(土)同センターへ18時半に直接来館。問い合わせは☎(951)1234の同センター J R小田急線新百合ヶ丘駅下車。同体育館はJ R南武線稲田堤駅下車。

「スポーツ教室◆幸スポーツセンター」①はじめてのバドミントンは5月11日～7月13日の毎週水曜10～12時、全10回。指導はバドミントン指導員。教材費2千円。定員30人②トレーニングをはじめようは5月14日～7月16日の毎週土曜18時半～20時半、全10回。基礎から指導。定員20人③親子体操は5月12日～7月21日の毎週木曜10時から11時から。全10回。対象は3、4歳児とその親。リズム体操を楽しむ。定員は各20組。受講料は①②が4千円③が1組3千円。申し込みは①4月27日(水)10時②4月27日(水)18時半③4月28日(木)10時半、同センターへ直接来館。問い合わせは☎(555)3011の同センター J R川崎駅からバス。

「スポーツ教室◆幸スポーツセンター」①「トレーニング講習会」は5月7日、6月4日、7月2日、8月6日の土曜16～18時。トレーニング室の利用法など。対象は中学生以上。定員各20人②健康体力相談事業は毎月第2、3、4土曜16～18時。対象は運動不足、これから運動を始める方。定員は毎回3人③体力づくりコースは毎週木、土曜10時から▽毎週火、金曜18時半から。時間は一回75分間。年間を通し、エアロビクスで体力の向上がはかれる。受講料は学生60円、大人120円。申し込みは①②は随時③は当日受講料を払う。問い合わせは☎(555)3011の同センター J R川崎駅からバス。 「武道教室◆石川記念武道館」①空手道は4月9日～7月16日の毎週土曜18時15分～19時15分、全14回②柔道は5月17日～6月21日の毎週火、木曜18～19時半、全10回③剣道は5月12日～7月21日の毎週火、木曜16時半～17時半、全20回④少林寺拳法は5月12日～7月21日の毎週木曜18～19時半、全10回⑤なぎなたは5月7日～7月16日の毎週土曜15～16時半、全10回⑥合気道は5月14日～7月2日の毎週火、土曜18～19時半、全15回。対象は小学生以上。定員は①③④⑥30人②⑤20人。受講料無料、入館料が必要。申し込みは①4月3日(日)10時②～⑥5月1日(日)13時に直接来館。問い合わせ

学習・文化情報

参加したいグループがある

ギャラリー

せは☎(544)0493
の同館 J R南武線鹿島田
駅下車。

「中村正義の美術館」4
月9日(土) 5月15日

(日)、中村正義「いろいろな
仕事」展。4月16日(土)

16時半 18時半、第一展示
室にて「中村正義を語る会」。

ゲストは小川益生、杉本長
治の両氏。参加協力費・千

円(入館料別)。開館は11
17時。月、火曜休館(但し

祝祭日は開館)。入館料一般
500円、学生300円、小中

200円(団体割引あり)。
同館は☎(953)493

6、小田急線読売ランド前
駅からバス。

「ギャラリー伊月」4月
1日(金) 9日(土)、田

崎裕子テンペラ画展。11
19時(最終日17時)、無休。
同館は☎(952)027

ざまな眼 60櫻井英嘉展。
水曜・4月17日(日)休館。
同所は J R川崎駅東口下車

IBMビル2階。問い合わせ
せは☎(222)8821

の川崎市文化財団。
「ギャラリー華沙里」4

月5日(火)まで中国作家、
劉 微水墨画展▽4月7日

(木) 19日(火)、グルー
プ展▽鈴木マサハル、吉川

俊夫、宮迫千鶴ほか▽4月
21日(木) 5月3日(火)

現代アメリカンアート展。
同所は☎(954)233

3 小田急線新百合ヶ丘駅
下車。

「会館とどろき」4月1
日(金) 14日(木)、会館

とどろき講座子ども絵画・
書道展。主催教職員互助会

同所は☎(733)333
3 J R南武線武蔵小杉駅
からバス。
「画廊ランぷ屋」4月8

している作家の作品。花器
中心の陶芸展。同所は☎(9

45)4416 J R南武
線稲田堤駅下車。

「市民ギャラリー」4月
22日(金) 27日(水)、写

団かわさき展。写真80点を
展示。同所は J R川崎駅東

口下車、銀柳街内。問い合
わせは☎(200)330

5の市教委文化課。
●祥の会《中原区市ノ坪

106、沢田ミツ代表》書
に興味を持って、老いも若

きも一緒に楽しんでいます。
仲間に入ってみませんか。

講師は池田昌代先生です。
第2、3、4、火曜10 12

時、中原区の総合自治会館
で。連絡は☎(411)1

646の代表宅へ。
●江戸芸かっぱれ幸道場
《幸区小向仲野町10-5、

4)7148の同代表宅
(夜)か、☎(522)4

051砂田さん宅へ。
●話し方サークル《麻生

区多摩美2-17-14、辻中
洋子代表》人前で話すこと

の苦手な方、一緒に訓練し
ませんか。なごやかで楽し

く活動している自主活動の
グループです。毎月第4水

曜13時半 15時半、県立勤
労女性会館で。会費は無料。

連絡は☎(953)851
6の代表宅へ。
●かわさき市民第九コン

サート合唱団《川崎区宮本
町6安田ビル、市教委文化

課内第九実行委員会》市内
在住在勤の高校生以上の方

ベーターへの交響曲9番
と一緒に歌いませんか。家

族は小学生も可。合唱経験
の有無は問いません。練習

は4月15日(金)から。は
がきに住所、氏名、年齢、

電話番号、歌うパート、第
九経験の有無を記し第九実

行委員会へ。お待ちしてい
ます。問い合わせは☎(2

00)2111内線330
5の同実行委。
編集チームから

この欄は、みなさまが学
ぶときや香り高い文化に親

しむとき、お役に立つこと
を願って編集しています。

市民グループや民間企業が
企画した無料か安価で良心

的な講座・講演、催し、ス
テージ、コンサート、スポ

ーツ、ギャラリー、会員募
集などの情報を当事業団編

集チーム宛てに封書、はが
き、ファックスでお寄せく

ださい。原稿の締め切りは、
その月号の前々月末日必着

読者の声

肉声が伝わるようです

横浜市港南区、越智葉子さん

12月号「いまを話す」のゆりがお

か児童合唱団の山田栄子さんのインタビューは、山田さんの声、話し方、しぐさが文面から伝わってくるようでした。今年はずいぶん、ゆりがおが児童合唱団の素晴らしい歌声に酔いたいと思っています。

若々しい山田さんに脱帽

小金井市貫井北町、

村松千恵子さん

山田栄子さんの知人です。頑張っている記事に脱帽し、写真を拝見して実際の年齢よりぐーんと若く見えるのに驚きました。社会的に大事なお仕事をしている方は違う、と羨ましく思いました。

三三三三三

ゆりがおが児童合唱団が
大人と競演して金賞受賞

國貞麻生区長が激励

小誌新春号「いまを話す」に登場した山田栄子さんが指導する「ゆりがおが児童合唱団」が、またも「大賞」を受賞した。

このほど三日間にわたり開催された「第9回東京ヴォーカルアンサンブルコンテスト」のファイナルを飾る「ルネッサンス・パロック」の部で、大人たちに混じって熱唱し、見事金賞に輝いた。

同大会は東京都合唱連盟が主催し、関東一円から150の団体が出場する一大コンクール。賞は金、銀、銅とあるが、数が決まっていなかったため、真の実力が問われる。同部門の参加資格は中学生以上の25人までのアンサンブル。

「ゆりがおか……」はこの日のために特別にチームを編成し、「コール・リリース」名で15人が出場した。

児童合唱の部では、4年連続金賞を受賞しているが、同部門には初めての出場。これまで以上に練習に熱を入れ、パロックの専門の先生を招き特訓もした。

先口、山田さんが國貞宏喜・麻生

区長を訪問、ルネッサンス・パロックの部で金賞受賞を報告した。國貞区長は、山田さんが持参した金賞受賞記念の女神のトロフィーを手にしながら、「大変な快挙です。ゆりがおが児童合唱団は麻生区民の誇りです。今後とも気軽ににお出掛け下さい」と、こやかに応対した。

この後、山田さんは小誌編集チームにも立ち寄り、「ステージ・アップ」に出させていたから、多くの方から励まされています。今後、いっそう、地元で歌わせていただけると嬉しいのですが……と目を輝かせていた。

「読者の声」にご投稿を 小誌は、市民とともに創る生涯学習情報誌です。生涯学習を感じたことや小誌についてのご意見などをながきかFAXで編集チーム宛てにお寄せ下さい。

編集後記

(川崎市制)七十年目の節目の年にあたり私は、先人の偉大な足跡に学びつつ、明日に育つ子ども達に思いを寄せ、過去と未来をつなぐ川崎市のアイデン

ティティ(独自性)を市民のみならずと共有しながら、明日の都市づくりに邁進していく考え▼個性的な文化の土壌づくりに向け施策に積極的な対応を図る▼地域の特性を十分に踏まえた、多様な視点から取り組みを進める▼ここまでは、新年度予算川崎市議会における高橋清市長の施政方針演説の一部です▼これまでの川崎市政の基本理念は「福祉とまちづくりを車の両輪」としてきました▼それは間違った方向ではなかったと思いますが、文化の視点がいや欠けていた気がしないでもありません▼文化というと美術や音楽、民俗芸能などを連想しますが、まちは文化そのものであることは、ヨーロッパの建築物が、わが国の建築物に比べ伝統を重んじ個性的で人々に安らぎを与えることを考えれば分かることです▼文化を視野に入れながら、まちづくりを進めようとの施政方針の理念を実現するには、市民参加の市政が不可欠です▼小誌もいっそう、市民参加の紙面に挑戦します。

発行 財団法人 川崎市生涯学習振興事業団

〒215 川崎市麻生区万福寺一の二の二 新百合21ビル
電話 (044) 952-5000 FAX (044) 952-1350

編集人 田中 園

同事業団生涯学習情報コーナー

〒210 同市川崎区富士見二の一の三 教育文化会館一階
電話 (044) 133-1625

川崎市制70周年メモリアルコンサート

新日本フィルハーモニー交響楽団

指揮——小澤征爾



■日 時——6月24日(金)午後7時開演

■会 場——川崎市教育文化会館大ホール

■曲 目——バルトーク：弦楽器・打楽器・チェレスタのための音楽
ドヴォルザーク：交響曲 第7番 二短調 作品70

■入場料——S ¥8,000 A ¥7,000 B ¥6,000

■発 売 場 所 (財)川崎市生涯学習振興事業団 ☎ 952-5000
問 い 合 わ せ 同事業団分室 ☎ 233-6250

主 催 川崎市生涯学習振興事業団／川崎市教育委員会

●曲目は変更する場合がありますので、あらかじめご了承下さい

好評
前売り中